

管内沿岸域流況調査
報告書

平成24年10月

第九管区海上保安本部

1 目的

平成24年度海洋情報業務計画に基づき、管内沿岸域において航空機による流況状況の調査を行い、マリンレジャー活動に係る安全推進、漂流予測の精度向上に資する基礎資料を得るものとする。

2 調査海域（「付図」参照） 新潟県沿岸域

3 調査期間及び経過概要

(1) 現地作業期間

平成24年10月26日

(2) 資料整理期間

平成24年10月26日から平成24年11月30日までのうち14日間

4 実施職員

(1) 現地作業班

班長 海洋情報部海洋調査課主任海洋調査官 高橋 渡
班員 " 海洋調査官付 竹中 积能

(2) 資料整理班

班長 海洋情報部海洋調査課主任海洋調査官 高橋 渡
班員 " 海洋調査官付 竹中 积能

5 経過概要

月日	時間	内容
10月26日	1005	新潟航空基地発
	1014	青山海岸海水浴場着
		目視による流況調査及び写真撮影
	1019	青山海岸海水浴場発
	1026	間瀬下山海水浴場着
		目視による流況調査及び写真撮影
	1033	間瀬下山海水浴場発
	1048	鯨波海水浴場着
		目視による流況調査及び写真撮影
	1054	鯨波海水浴場発
	1102	鵜の浜海水浴場着
		目視による流況調査及び写真撮影
	1110	鵜の浜海水浴場発
	1114	なおえつ海水浴場着
		目視による流況調査及び写真撮影
	1124	なおえつ海水浴場発
	1205	新潟航空基地着

6 調査方法

(1) 目視による流況調査

新潟航空基地所属の航空機に同乗し、新潟県内の青山海岸、間瀬下山、鯨波、鵜の浜、なおえつの各調査海域上空の高度 1500～1700feet 付近で旋回し、離岸流等の流れの発生及び風浪・うねり等の海象の発生並びに海岸の状況について目視による調査を行い、調査海域の特徴や危険箇所を特定した。

新潟航空基地を離陸し、海岸線に沿って南下し、なおえつ海水浴場まで調査を行った。なおえつ海水浴場での調査が終了した後、往路と同様に海岸線に沿って北上し、新潟航空基地に向かい、着陸した。

(2) 写真等撮影
目視による流況調査と併せて、デジタルカメラ及びビデオカメラを使用して撮影を行った。

7 使用した船舶又は航空機の種別又は名称
新潟航空基地所属ヘリ (MH967)

8 調査結果 (「写真集」参照)

(1) 青山海岸海水浴場
潜堤の内側の海岸付近では大きな波が立っていた。離岸堤の間は海水の色が濃くなっており水深が深く見えた。東側 (写真上部) の海岸付近から沖に向かい濁水が流れ出していた。
調査時の風は、南南東 (写真右側からの風) 約 4 m/s だった。

(2) 間瀬下山海水浴場
海岸全体で波が立っていた。特に離岸堤の無い箇所では大きな波が立っていた。離岸堤の間は海水の色が濃くなっており水深が深く見えた。離岸堤の沖では濁水が港の防波堤に沿って流れ出していた。岩場付近では沖に向かい濁水が流れ出していた。
調査時の風は、南東 (写真左下側からの風) 約 3 m/s だった。

(3) 鯨波海水浴場
海岸付近の波は穏やかだった。離岸堤の間は海水の色が濃くなっており水深が深く見えた。西側 (写真左下部) に漁港があり漁船等の出入りがあった。
調査時の風は、南南東 (写真右下側からの風) 約 3 m/s だった。

(4) 鷺の浜海水浴場
海岸一帯で大きな波が立っていた。離岸堤の間は海水の色が濃くなっており水深が深く見えた。沖に潮目が存在し、潮目に沿った流れがある可能性がある。
調査時の風は、東 (写真右側からの風) 約 1 m/s だった。

(5) なおえつ海水浴場
離岸堤の無い箇所では、大きな波が立っていた。離岸堤の間は海水の色が濃くなっており水深が深く見えた。海岸の西側 (写真上部) 付近と中央部 (写真中央部) 付近では、沖に向かい濁水が流れ出しており、海岸の西側 (写真上部) 付近ではサーファーが多数沖出ししている様子も確認できた。
調査時の風は、南東 (写真右上側からの風) 約 1 m/s だった。

9 まとめ

今回、前日までの悪天候による雨水の影響で、海岸付近が濁っていることが多く、特徴がつかみにくい状況であったが、離岸流や潮目を確認することができ、調査目的を達成することができた。

今回得られた調査結果は注意喚起情報として HP 上に掲載といたしたい。また、本調査により、得られた資料は管内沿岸域流況調査報告書としてとりまとめ、来年度以降の離岸流調査時の基礎資料とするほか、航空基地や関係保安部署に配布し、海浜域のしょう戒時に危険箇所等の確認や監視箇所等の確認のための参考資料とする。

なお、今回の調査で管内の主な海水浴場における調査を終了した。今後は、平成 15 年度調査開始から本年度調査終了までの全資料を流況調査報告としてとりまとめ、改めて関係部署に配布する予定である。

本調査の実施にあたり、これまで長きにわたりご協力頂いた新潟航空基地に対し、深く御礼申し上げます。

平成24年

調査海域図

付図



..... 濁水

(1) 青山海岸海水浴場

高度
1500feet

写真集

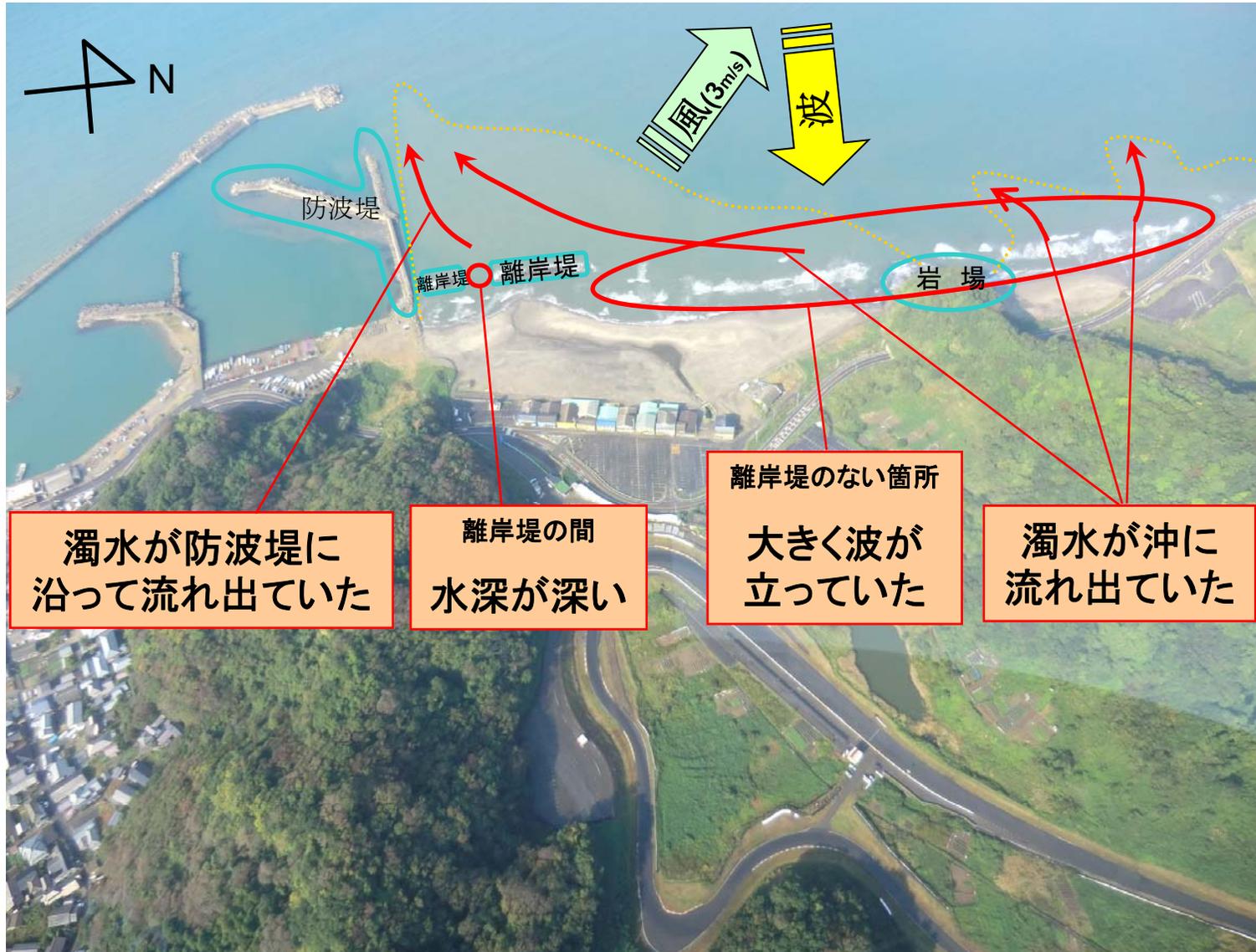


潜堤の内側の海岸付近では大きな波が立っていた。離岸堤の間は海水の色が濃くなっており水深が深く見えた。東側(写真上部)の海岸付近から沖に向かい濁水が流れ出ていた。調査時の風は、南南東(写真右側からの風)約4m/sだった。

..... 濁水

(2) 間瀬下山海水浴場

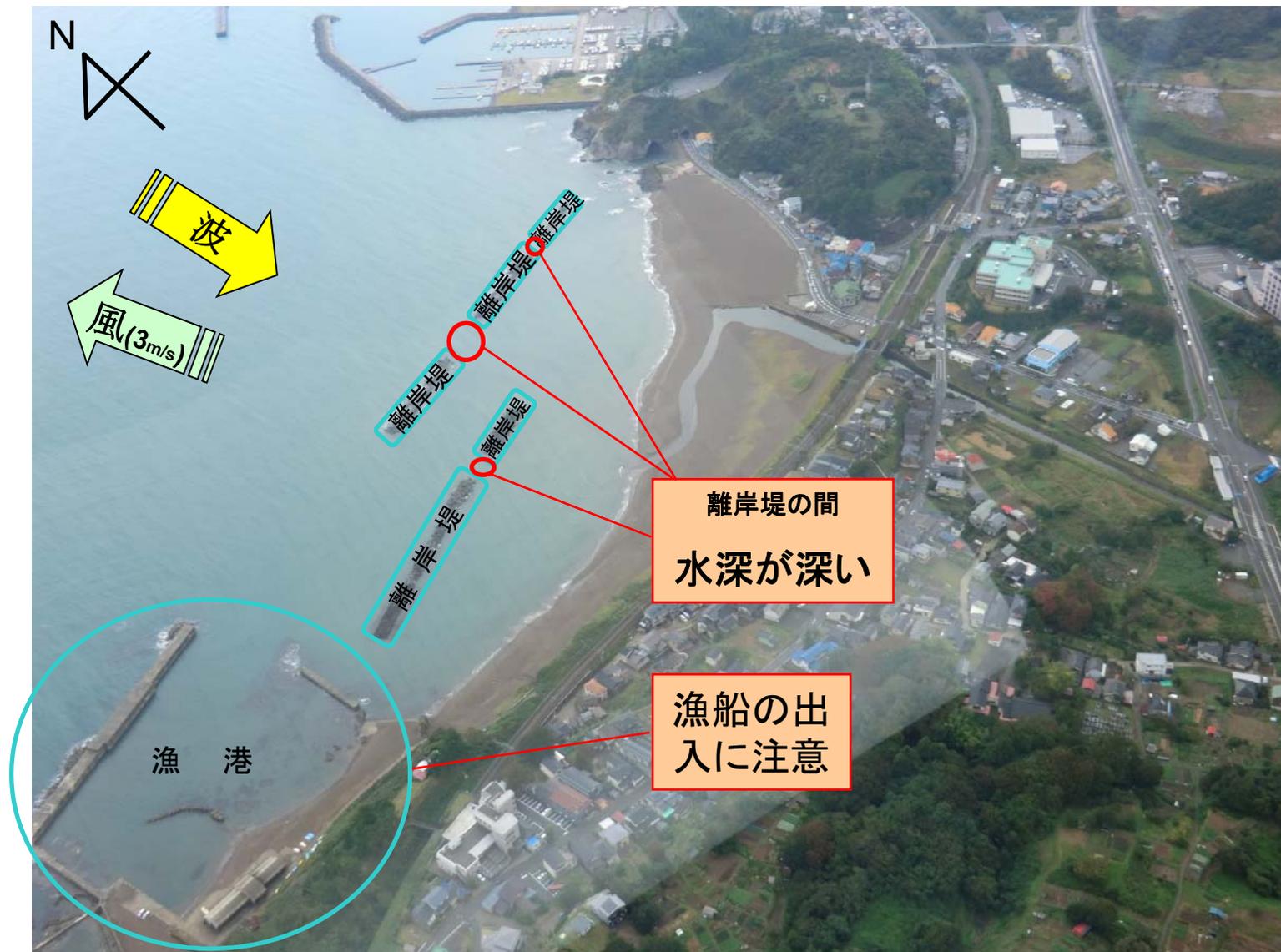
高度
1700feet



海岸全体で波が立っていた。特に離岸堤の無い箇所では大きな波が立っていた。離岸堤の間は海水の色が濃くなっており水深が深く見えた。離岸堤の沖では濁水が港の防波堤に沿って流れ出ていた。岩場付近では沖に向かい濁水が流れ出ていた。
調査時の風は、南東(写真左下側からの風)約3m/sだった。

(3) 鯨波海水浴場

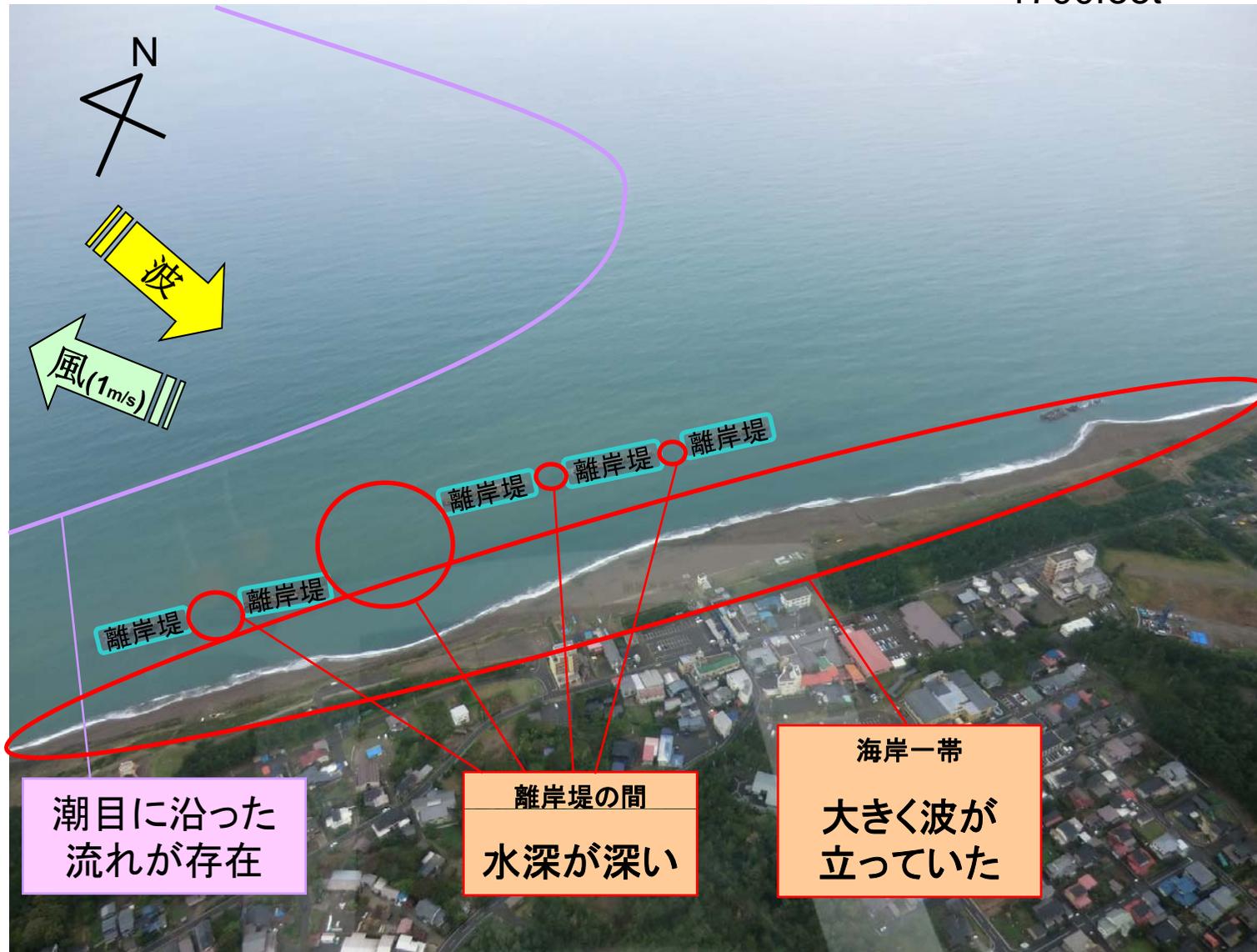
高度
1700feet



海岸付近の波は穏やかだった。離岸堤の間は海水の色が濃くなっており水深が深く見えた。西側(写真左下部)に漁港があり漁船等の出入りがあった。調査時の風は、南南東(写真右下側からの風)約3m/sだった。

(4) 鶉の浜海水浴場

高度
1700feet

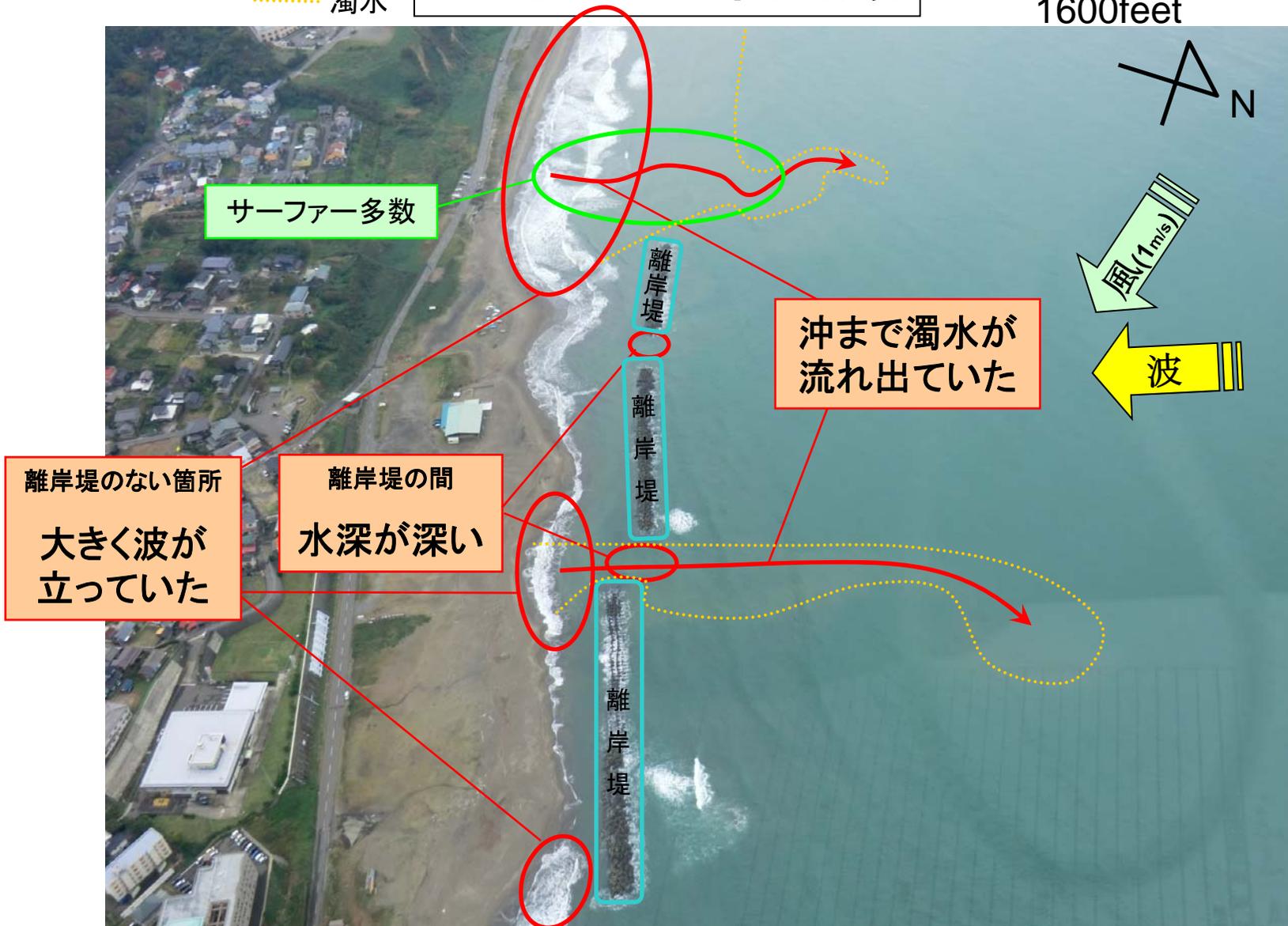


海岸一帯で大きな波が立っていた。離岸堤の間は海水の色が濃くなっており水深が深く見えた。沖に潮目が存在し、潮目に沿った流れがある可能性がある。調査時の風は、東(写真右側からの風)約1m/sだった。

(5) なおえつ海水浴場

..... 濁水

高度
1600feet



離岸堤の無い箇所では、大きな波が立っていた。離岸堤の間は海水の色が濃くなっており水深が深く見えた。海岸の西側(写真上部)付近と中央部(写真中央部)付近では、沖に向かい濁水が流れ出ており、海岸の西側付近ではサーファーが多数沖出ししている様子も確認できた。調査時の風は、西北西(写真右上側からの風)約1m/sだった。